

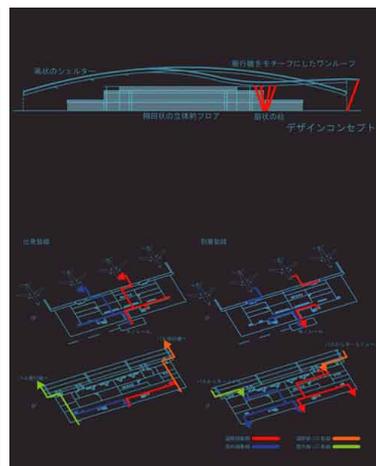
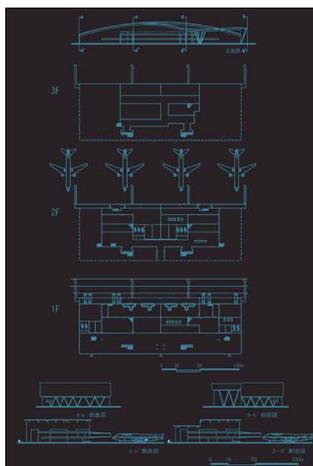
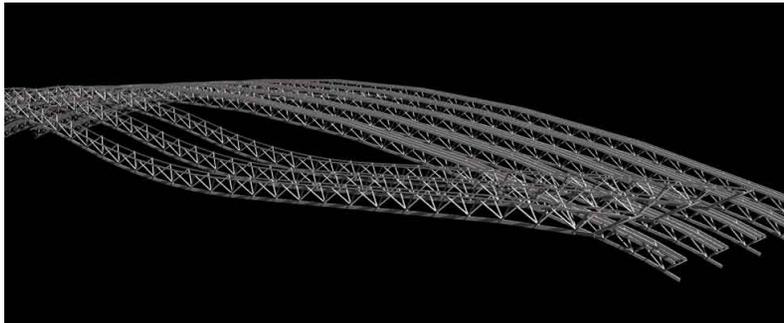
奨励賞



横田基地軍民共用化に共なる 航空ターミナルのデザイン

三橋 正典(みはし まさのり)
日本大学 理工学部 社会交通工学科

寺井 好(てらい このむ)
日本大学 理工学部 社会交通工学科



首都圏における空港は、羽田と成田の両空港で国内空港需要の60%を占める中核空港を形成している。そして、今後も首都圏に航空需要が集中すると予測されている。しかしながら現在の首都圏の空港では今後さらに首都圏に集中する様々なニーズの航空需要に対応できない。そこで本計画では、横田基地軍民共用化の可能性から首都圏第三空港と地方空港としての視点と軍民共用化の視点を用いて、LCC (Low Cost Career) を取り入れた新しい「運用システム」と3空港から施設規模比較を行い空港施設の適正規模を選定し、機能的に最も有効な配置計画を行い、ターミナルは象徴性や利用する人々の高揚感を具現化したデザインとして新しい「ターミナルデザイン」を提案する。



【評価】近い未来に確実に関東大震災は発生する。そして発生した時、羽田は水没し成田からの交通は遮断される。このときこの空港は関東圏の第三の空港から、第一の空港となる。その為にも、この計画は非常に重大であると考えられる。

既設を利用し最小の犠牲で実行可能なこの作品は作者のコンセプトである、LCC (Low Cost Career) にはうってつけである。又空港計画の弱点となり易い交通は多摩モノレールの延長計画が利用でき、JR駅・高速道路ICも近い。集客力は、新幹線が無く、飛行場を持たない山梨の人々や埼玉からの利用も見込め、採算性も計算できる。東京都知事も喜ぶ計画である。

ターミナルビルは、翼のトラップを上下させたイメージで軽快な感じで大変美しく、軍事施設併用の重さを払拭させてくれる。
(審査員：竹下章治)